６５年間の先輩方の思いを胸に

～　最後の卒業生を送り出して　～

令和５年３月３日
総合ビジネス科学科主任

本校は、明治２８年１０月１日に瀬戸陶器学校として開校され、昭和２３年に学制改革に伴い瀬戸窯業高等学校に改称されました。窯業科のみであった本校ですが、昭和３２年に、窯業科２クラス８０名商業科２クラス１００名となり、商業科はこの年にスタートしました。以来、学科名が変更される平成２８年までの５９年間、そして平成２９年からスタートした総合ビジネス科が６年間、合わせて６５年間、瀬戸窯業高校の商業はその歴史を歩んできました。２クラスからスタートした商業ですが、第一次ベビーブーム世代のころ４学級に増え、その後２学級となり、現在の１学級に至っています。時代の流れとともに変わっていくものがあるとはいえ、今日までの本校の商業の歴史と、商業科を卒業されていった同窓生の母校に対する心情を考えると、とても寂しい気持ちになります。

本校商業科は６５年という長い歴史があります。その長い歴史の中で、その時代を表す価値観とともに商業も変化を遂げてきました。商業は時代とともに変化を遂げましたが、高校生はどの時代であっても基本的には変わりません。毎日をその若さとともに一生懸命に過ごし、その時の自分にできることに精一杯取り組んで素晴らしい青春時代を過ごし、最高の思い出を作っていったと思います。現在の本校商業生である３年５組３８名も、それぞれに自分のできる範囲で一生懸命たくさんのことに取り組んできました。コロナの影響で、インターンシップが行えないなどの様々な制限がありましたが、その時々で彼らは彼らなりに目の前にあるやるべきことに一生懸命取り組みました。卒業まで残り少ない日数となりましたが、これまで卒業されていったたくさんの先輩方の思いを胸に、最後までしっかり瀬戸窯業高校の商業生として頑張り、先輩方と同じように最高の思い出を作って瀬戸工科高校総合ビジネス科の有終の美を飾ることができました。

これまで瀬戸窯業高等学校商業科、瀬戸工科高等学校総合ビジネス科を支えてくださった先生方、職員の方々、ＰＴＡ・同窓会の方々、本当にありがとうございました。支えてくださった多くの方々への感謝の思いとともに、今後の瀬戸工科高等学校のご発展を心からお祈り申し上げます。